

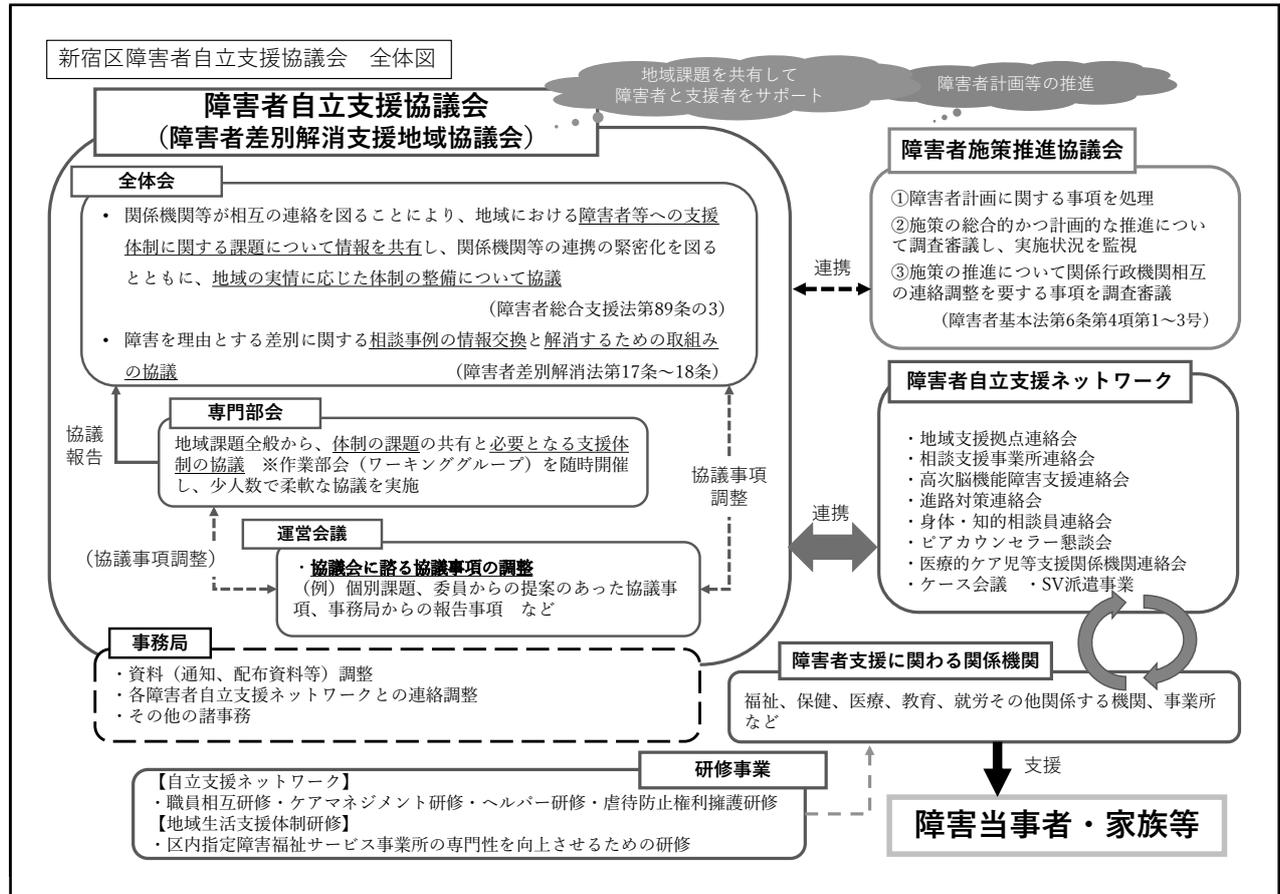
新宿区

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 新宿区障害者自立支援協議会

(2) ホームページURL https://www.city.shinjuku.lg.jp/shingi/index19_00001.html

(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	集合形式	専門部会等	その都度異なる
-----	------	-------	---------

具体的な内容

専門部会に関しては状況を鑑み、集合形式にすることもあればハイブリッド形式にすることもあ

る。

イ 開催時間

全体会	平日日中 (業務時間内)	専門部会等	平日夜間 (業務時間外に係る時間帯)
-----	--------------	-------	--------------------

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経験年数
1	会長	三浦 勇太	新宿東メンタルクリニック (精神科医師)	医療関係者		15年
2	副会長	河村 ちひろ	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授	学識経験者		6年
3	副会長	友利 幸湖	社会福祉法人結の会 オフィス クローバー 理事長	家族・関係団体		17年

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経年数
4		片岡 丈人	公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター 就労支援部長	雇用関係機関		2年
5		吉田 あおき	新宿公共職業安定所専門援助第二部門 統括職業指導官	雇用関係機関		1年
6		早田 賢史	第二東京弁護士会 高齢者・障がい者総合支援センター	法曹関係者		2年
7		高橋 秀子	東京行政相談委員協議会 新宿区行政相談員	その他	権利擁護関係者	8年
8		飯島 泰文	東京人権擁護委員協議会新宿地区人権擁護委員	その他	権利擁護関係者	8年
9		門脇 伸也	新宿区立新宿養護学校 学校長	教育関係機関		4年
10		今井 康之	新宿区障害者団体連絡協議会 事務局次長	家族・関係団体		8年
11		内藤 美那子	新宿区手をつなぐ親の会 会長	家族・関係団体		8年
12		塩川 恵子	新宿区立障害者福祉センター 相談支援専門員	障害福祉サービス等事業者		6年
13		廣川 美也子	社会福祉法人南風会 シャローム みなみ風 施設長	障害福祉サービス等事業者		8年
14		山崎 崇司	新宿区立障害者生活支援センター 施設長	障害福祉サービス等事業者		5年
15		石丸 明子	新宿区基幹相談支援センター	相談支援事業者		6年
16		八角 令子	相談支援事業所 Kaien新宿	相談支援事業者		4年
17		寺本 ちえり	特定相談支援事業所 どまーに	相談支援事業者		4年
18		山本 昌生	東京都宅地建物取引業協会第7ブロック 副ブロック長	企業		2年
19		伴 麻子	株式会社早稲田大学ポラリス マネージャー	企業		12年
20		御所窪 和子	若松町地区民生委員・児童委員協議会 会長	民生委員・児童委員		2年
21		宮端 啓介	社会福祉法人新宿区社会福祉協議会 事務局次長	社会福祉協議会		1年
22		渡辺 隆介	福祉部障害者福祉課長（新宿区基幹相談支援センター）	行政職員（区市町村）		1年
23		高橋 愛貴	健康部保健予防課長	行政職員（区市町村）		3年

(2) 委員構成

種別	全体会・部会名		地域における障害福祉の在り方を検討する部会	災害時等の支援を検討する部会	権利擁護検討部会
	全体会				
学識経験者	1		1	1	1
医療関係者	1		1	1	1
保健所	0				
教育関係機関	1			1	
雇用関係機関	2		1		
企業	2			1	2
障害当事者（ピアサポーター含む）	0				
家族・関係団体	3		2	2	2
身体・知的障害者相談員	0				
相談支援事業者	3			1	
障害福祉サービス等事業者	3		1	1	2
社会福祉協議会	1				
法曹関係者	1		1		1
民生委員・児童委員	1				
地域住民	0				
行政職員（区市町村）	2				
行政職員（都）	0				
その他	2				
計	23		7	8	9

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

・ 自立支援協議会委員の弁護士と精神科医が「権利擁護」と「自己決定（権）」の内容でセミナーを開催した。
・ 障害者差別に関する情報交換と権利擁護について（協議会、運営会議、専門部会）

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

・ 地域生活支援拠点の運営状況の確認、検討（協議会）

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

・ 障害福祉計画等作成に向けた意見書の提出（専門部会）

⑭ その他（災害時の対応等に関すること）

・ 区の防災（避難方法）について現状把握（専門部会）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

・ 新宿区障害者自立支援ネットワークとの連携（協議会）

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

・ 自立支援協議会委員や自立支援ネットワーク等から寄せられた協議会に諮るべき課題について、事務局で収集する。

② 情報共有・情報発信

・ 協議会の資料や議事録を区のホームページで公開し、情報発信を行っている。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

・ 障害者自立支援ネットワークと連携し、支援に関する情報の収集や整理を行う。

⑤ 地域課題の整理

・ 障害者各々の生涯学習、趣味や就労、出会いの場を作る等の視点を取り入れることの意義を確認し、社会資源を有効に利用する方策を検討している。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

・ 全体会及び専門部会で地域の障害者問題等の現状を共有し、議論を深めている。

⑩ 権利擁護・虐待防止

・ 権利擁護啓発活動を行っている。

⑪ 相談支援過程における評価（相談支援の質の評価、機関等及びそれらの連携に関する評価、施策に関する評価、政策作成に係る提言）

・ 地域生活支援拠点の運営状況の確認、検討を行っている。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

・専門部会内に当事者等呼んで、困難事例を聞き協議会で検討につなげている。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

③ 権利擁護・虐待防止

権利擁護検討部会にて取り組んでいる。

(1) 権利侵害の実例などについての把握

(2) 権利侵害とまでいえない場合でも、権利擁護が必要な場合であるのに権利擁護が受けられないケースの把握

(3) 当事者やその家族らが、自らの権利が擁護されうるために利用できる法律やそれらに基づく制度などについて、十分に把握して利用できるように、当事者及びその家族、地域社会等に対して働きかけをしていく。

⑥ 緊急・災害等対応

災害時等の支援を検討する部会にて取り組んでいる。

(1) 区や地域で準備されている支援の枠組みおよび問題点と、地域ごとの進捗状況、避難所および障害者の家庭におけるハード面での準備等。

(2) 当事者サイドからみた現状や課題。

⑬ その他（障害当事者の意見の集約と計画への反映）

地域における障害福祉の在り方を検討する部会にて取り組んでいる。

昨年は障害当事者の生の声を聴き、計画に反映できるようセッションの場を設けた。今後、引き続き当事者等から意見を集める仕組みづくりも検討していく。

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

・特になし。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	一概には言えない。	専門部会等	一概には言えない。
-----	-----------	-------	-----------

具体的な内容

・対象期間が短すぎて判定できない。

ウ 活性化するための今後の取組

・議論が活発になるよう、工夫がいる。
・当事者参加を推進するよう、運営方法を改良していく。

(2) ICTの活用

・会議録は音声認識による文字起こしツールを活用している場合もある。
・協議会が企画したセミナーにおいて、実際に来場した者だけでなく、ZOOM等を利用して遠隔の人にも見てもらえるようにした。